

平成 2 2 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査
(平成 2 3 年度調査)
調 査 票 (案)

○ 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

- ・ 調査概要 1 頁
- ・ 施設票 4 頁
- ・ 精神患者訪問看護票 1 3 頁
- ・ 病棟票① 1 6 頁
- ・ 病棟票② 2 2 頁
- ・ 病棟票③ 2 7 頁
- ・ 病棟票④ 3 2 頁
- ・ 病棟票⑤ 3 7 頁
- ・ 患者票 4 2 頁
- ・ デイケア利用者票 4 5 頁
- ・ 依頼票 4 7 頁

「精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査」調査の概要（案）

■ 調査目的

- ・ 医療機関の精神科病棟における急性期医療や救急医療に係る体制の把握
- ・ 医療機関における医療提供状況の変化、患者の状況等の把握

<調査のねらい>

- 精神医療に関連する各種項目の算定状況等
- 精神科病棟における入院患者の状況等
- 精神科病棟における医師や看護師の配置状況等
- 精神科救急入院の受入状況や精神科入院患者の退院調整の状況等
- 重症度の評価を導入した事による精神科患者の診療状況の変化等

■ 調査対象及び調査方法

<施設調査>

- ・ 精神病床を有する全保険医療機関を調査対象とする。

<精神科訪問看護調査>

- ・ 上記施設調査の対象施設の訪問看護部門、併設する訪問看護事業所を調査対象とする。

<病棟調査>

- ・ 上記施設調査の対象施設の①「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）」、②「精神科救急入院料」、③「精神科救急・合併症入院料」、④「精神科急性期治療病棟入院料」、⑤「精神療養病棟入院料」を算定しているそれぞれの病棟を調査対象とする。

<患者調査>

- ・ 上記施設調査の対象施設において調査時点で「精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）」、「精神科救急入院料」、「精神科救急・合併症入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「精神療養病棟入院料」算定病棟に入院している患者について、それぞれ3人ずつ、デイ・ケア利用患者について条件に適合する患者3人を無作為抽出し、計18人を調査対象とする。

<調査方法>

- ・ 施設調査は、自記式調査票の郵送配布・回収とする。
- ・ 精神科訪問看護調査、病棟調査、患者調査は、自記式調査票で施設調査対象施設において、配布し、施設調査と合わせて回収する。

■ 調査項目（調査票案 参照）

■ 東日本大震災の影響による実施上の対応について

1. 調査票配布時の配慮

- (1) 抽出された保険医療機関等のうち、下記の区域等に所在する保険医療機関等に対しては、調査票の発送は行わない。
 - ① (社) 日本損害保険協会が津波や火災によって甚大な被害（流失や焼失）のあった街区として認定した全損地域
 - ② 郵便事業（株）によって郵便物等の配達困難地域となっている区域
 - ③ 原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）第15条第3項の規定による避難のための立退き又は屋内への退避に係る内閣総理大臣の指示の対象地域となった区域
 - ④ 同法第20条第3項の規定による計画的避難区域及び緊急時避難準備区域の設定に係る原子力災害対策本部長の指示の対象となっている区域
- (2) 抽出された保険医療機関等のうち、東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律（平成23年法律第40号）第2条第3項に規定する特定被災区域に所在する保険医療機関等に対しては、事前に個別連絡を行い、調査協力の了承を得た上で、調査票の発送を行う。

2. 震災の影響を把握するための措置（全国）

東日本大震災の影響により、保険医療機関等に与えている実態を把握するため、調査票の施設情報記入欄に、震災影響について調査する項目を設け、ご協力をいただく。

3. 集計・分析時の配慮

- (1) 有効回答の集計・分析の際に、被災区域に所在する保険医療機関等のデータを除いた集計を別途行うなどの措置を講ずる。
- (2) 保険医療機関等（調査票の配布に当たり配慮を行った区域に所在）の回収できなかったデータの補完については、他省、他部局等の手法等を参考に、別途推計、補完した全国集計を行う。

（例）家計調査：調査票が回収できなかった地域については、東北地方で回収できた調査票を基に推計し、全国の結果として公表

毎月勤労統計調査：全国集計については従前同様の方法で実施しつつも、欠落した調査データによる影響の可能性を付記
- (3) その他、東日本大震災の影響の把握を可能な限り行うため、状況の把握を進めつつ、必要な措置を講ずる。

(参考) 昨年度検証調査における岩手県、宮城県、福島県の調査客対数

	岩手県	宮城県	福島県	合計	全調査客対数
救急医療等の充実・強化のための見直しの影響調査	18	38	32	88(3.2%)	2,761
外来管理加算の要件見直し及び地域医療貢献加算創設の影響調査	31	58	53	142(3.9%)	3,600
歯科技工加算創設の影響調査	43	34	46	123(6.2%)	2,000
後発医薬品の使用状況調査	44	82	79	205(4.1%)	5,000
明細書発行原則義務化後の実施状況調査	53	81	60	223(4.1%)	5,500

■ 調査スケジュール

	平成23年								
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月~3月
調査の設計・調査票の作成	→								
調査客体の選定		→							
調査票等の印刷・封入			中医協の了承 (1週間程度)						
調査実施				→ (8月上旬発送、9月上旬〆切、督促、督促後の〆切:9月下旬頃)					
督促					→				
調査票回収・検票				→					
データ入力 データクリーニング					→				
集計・分析						→			
調査結果作成(速報)							→ 報告		
追加分析・調査結果作成								→ 報告	
調査検討委員会開催		★				★			

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）
精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

--

- 特に指定がある場合を除いて、**平成23年6月30日**現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、**該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）**をご記入ください。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成23年（ ）月（ ）日
ご記入担当者名	
連絡先電話番号	
連絡先FAX番号	

■貴院の概況についてお伺いします。

問1 貴院の**開設者**について該当するものをお選びください。（○は1つ）

- 01 国（厚生労働省,独立行政法人国立病院機構,国立大学法人,独立行政法人労働者健康福祉機構 等）
- 02 公立（都道府県,市町村,一部事務組合）
- 03 公的（日赤,済生会,北海道社会事業協会,厚生連,国民健康保険団体連合会）
- 04 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会,厚生年金事業振興団,船員保険会,健康保険組合,共済組合,国民健康保険組合）
- 05 医療法人
- 06 個人
- 07 その他（公益法人,私立学校法人,社会福祉法人,医療生協,会社 等）

問2 貴院の**承認等の状況**について該当するもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|----------------------|
| 01 地域医療支援病院 | 04 特定機能病院 | 07 在宅療養支援病院 |
| 02 病院群輪番制病院 | 05 DPC対象病院 | 08 専門病院 ^注 |
| 03 災害拠点病院 | 06 DPC準備病院 | 09 認知症疾患医療センター |

注. **専門病院**とは、主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たものをいいます。

問3 貴院の精神科医療に関する指定等の状況についてご記入ください。(○はそれぞれ1つ)		
1 指定病院 (精神保健福祉法第19条の8)	01 該当	02 非該当
2 応急入院指定病院 (精神保健福祉法第33条の4)	01 該当	02 非該当
3 特定病院 (精神保健福祉法第22条の4)	01 該当	02 非該当
4 精神科救急医療体制整備事業への参加	01 有	02 無

問4 貴院の標榜している診療科として該当するものをお選びください。(○は1つ)	
01 単科精神科病院	02 単科精神科病院以外

■貴院の許可病床数、病床利用率、平均在院日数の状況についてお伺いします。

問5 貴院の平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点の許可病床数、病床利用率、平均在院日数をご記入ください。	平成21年6月			平成23年6月		
	許可 病床数	病床 利用率 ^{注1} (小数点第1位まで)	平均在院 日数 ^{注2} (小数点第1位まで)	許可 病床数	病床 利用率 ^{注1} (小数点第1位まで)	平均在院 日数 ^{注2} (小数点第1位まで)
1 精神病床	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料(精神病棟)	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科救急入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科救急・合併症入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科急性期治療病棟入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】精神科療養病棟入院料	床	%	日	床	%	日
【別掲】認知症治療病棟入院料	床	%	日	床	%	日
2 一般病床	床	%	日	床	%	日
3 療養病床	床	%	日	床	%	日
4 結核病床	床			床		
5 感染症病床	床			床		

注1. 病床利用率は平成21年4月～6月、平成23年4月～6月のそれぞれ3カ月の病床利用率をご記入ください。なお、【別掲】については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者（算定要件に該当しない患者を含む）を基に算出してください。

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{4月～6月の在院患者延べ数}}{\text{(月間日数} \times \text{月末病床数) の4月～6月の合計}}$$

注2. 平均在院日数は平成21年4月～6月、平成23年4月～6月のそれぞれ3カ月の平均在院日数をご記入ください。なお、【別掲】については、当該特定入院料の届出病床に入院した全ての患者（算定要件に該当しない患者を含む）を基に算出してください。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{4月～6月の在院患者延べ数}}{\text{(4～6月の新入院患者数} + \text{4～6月の退院患者数)} \times 0.5}$$

■貴院において精神科に従事する職員数についてお伺いします。

問6 貴院の精神科病棟において平成23年6月の1カ月間に従事している職員数をご記入ください。		常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)
1 医師		. 人
【再掲】精神保健指定医		. 人
【再掲】精神保健指定医以外の精神科医		. 人
【再掲】内科医		. 人
【再掲】外科医		. 人
2 看護職員（看護師・准看護師）		. 人
3 看護補助者		. 人
4 作業療法士		. 人
5 臨床心理技術者		. 人
6 ソーシャルワーカー（社会福祉士等）		. 人
【再掲】精神保健福祉士		. 人
7 その他		. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日（各日8時間）勤務の看護師が10人と、週4日（各日5時間）勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

■貴院の精神科病棟に関連する診療報酬の施設基準の届出状況についてお伺いします。

問7 貴院で平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で届出を行っている精神科病棟の入院基本料、特定入院料として該当するもの全てに○をつけてください。	平成21年6月		平成23年6月	
	1 精神科病棟入院基本料	01 10 対 1	04 20 対 1	01 10 対 1
	02 15 対 1	05 届出無し	02 13 対 1	05 20 対 1
	03 18 対 1		03 15 対 1	06 届出無し
2 特定機能病院入院基本料 (精神科病棟)	01 7 対 1	04 届出無し	01 7 対 1	04 15 対 1
	02 10 対 1		02 10 対 1	05 届出無し
	03 15 対 1		03 13 対 1	
3 精神科救急入院料 ₁	01 有	02 無	01 有	02 無
4 精神科救急入院料 ₂	01 有	02 無	01 有	02 無
5 精神科急性期治療病棟入院料 ₁	01 有	02 無	01 有	02 無
6 精神科急性期治療病棟入院料 ₂	01 有	02 無	01 有	02 無
7 精神科救急・合併症入院料	01 有	02 無	01 有	02 無
8 精神療養病棟入院料	01 有	02 無	01 有	02 無
9 認知症治療病棟入院料 ₁	01 有	02 無	01 有	02 無
10 認知症治療病棟入院料 ₂	01 有	02 無	01 有	02 無

■貴院における精神科病棟の患者についてお伺いします。

問8 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に貴院の精神科病棟に入院した全ての患者の入院形態、主たる疾患、年齢階級、在院期間、および外来の延べ患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。 なお、入院形態①～⑤の合計、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計、在院期間①～⑥の合計については、最上段の「精神科病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科病棟の入院患者数		人	人
入院形態別	① 任意入院患者数	人	人
	② 措置入院患者数	人	人
	③ 緊急措置入院患者数	人	人
	④ 医療保護入院患者数	人	人
	⑤ 応急入院患者数	人	人
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害（精神遅滞）	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
在院期間別 ^{注2}	① 1カ月未満	人	人
	② 1カ月以上3カ月未満	人	人
	③ 3カ月以上6カ月未満	人	人
	④ 6カ月以上1年未満	人	人
	⑤ 1年以上5年未満	人	人
	⑥ 5年以上	人	人
精神科の外来患者延べ数		人	人
紹介状を持参して外来受診した患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版（2003年改訂）の「精神および行動の障害」によるものとします。

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

問9 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の精神科病棟に新規入院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
新規入院患者数		人	人
貴院の精神科病棟に入院する前3カ月に保険医療機関の精神病棟に入院したことがある患者数		人	人

■貴院における精神科病棟の退院患者についてお伺いします。

問10 貴院では、退院支援^注を担当する専門部署を設置していますか。

01 設置している (⇒問10-1～問10-2へ) 02 設置していない (⇒問11へ)

注. 退院支援とは、関係職種によって退院支援計画の作成、退院先の検討、退院後の必要なサービスの紹介等を行うことをいいます。

問10-1 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月		平成23年6月	
	専 従 ^注	専 任 ^注	専 従	専 任
1 医 師	人	人	人	人
2 看 護 師	人	人	人	人
3 准看護師	人	人	人	人
4 ソーシャルワーカー (社会福祉士等)	人	人	人	人
【再掲】精神保健福祉士	人	人	人	人
5 その他	人	人	人	人

注. 専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。

専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

問10-2 当該部署は、精神科病棟の入院患者の退院支援に関与していますか。

01 関与している 02 関与していない

問11 平成21年1～12月、平成22年1～12月の各1年間に、貴院の精神科病棟から転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

		平成21年1～12月	平成22年1～12月
転院・退院患者延べ数		人	人
退院後一年間に利用した自院のサービス別	① 自院の外来	人	人
	② 自院のデイ・ケア	人	人
	③ 自院からの訪問診療・往診	人	人
	④ 自院からの訪問看護	人	人
	⑤ 自院のその他の通院・在宅サービス	人	人
	⑥ 自院のサービス利用なし	人	人
退院後一年間に自院のデイ・ケアの利用はないものの、他施設のデイ・ケアを紹介した患者延べ数		人	人
退院後一年間に自院の訪問看護の利用はないものの、他施設の訪問看護サービスを紹介した患者延べ数		人	人
精神科退院指導料を算定した件数		件	件
【再掲】精神科地域移行支援加算算定件数		件	件
精神科退院前訪問指導料を算定した件数		件	件
在院期間が5年以上だった転院・退院患者延べ数 ^注		人	人

注. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

問12 平成22年、平成23年における精神科地域移行実施加算の届出状況、平成21年1～12月、平成22年1～12月の各1年間に入院期間が5年を超える患者が減少した割合をご記入ください。

1 精神科地域移行実施加算の届出状況	平成22年	01 有	02 無
	平成23年	01 有	02 無
		平成21年1～12月	平成22年1～12月
2 入院期間が5年を超える患者の1年間における減少割合 ^注		%	%

注. 1年間における入院期間が5年を超える患者の減少割合は、以下の算出式に基づいて数値をご記入ください。なお、算出式中の退院した患者数については、退院後3カ月以内に再入院した患者を除いて算出してください。

入院期間が5年を超える患者の減少割合 = $\frac{\text{各年1月1日時点で入院期間が5年以上であった患者のうち、1月～12月までの1年間で退院した患者数} - \text{前年の1月2日以降に入院期間が5年以上となり、かつ前年の1月～12月までの1年間で退院した患者数}}{\text{前年の1月2日以降に入院期間が5年以上となった患者数}}$

■貴院における精神科デイ・ケアの実施状況についてお伺いします。

問13 貴院では、精神科デイ・ケアの届出を行っていますか。

01 届出あり (⇒問13-1～問13-3へ)

02 届出なし (⇒問14へ)

問13-1 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月		平成23年6月	
	専 従 ^注	専 任 ^注	専 従	専 任
1 医 師	人	人	人	人
2 看 護 師	人	人	人	人
3 准看護師	人	人	人	人
4 作業療法士	人	人	人	人
5 臨床心理技術者	人	人	人	人
6 ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	人	人	人	人
【再掲】精神保健福祉士	人	人	人	人
7 そ の 他	人	人	人	人

注. 専従とは、原則として当該部署の業務のみに従事することをいいます。
専任とは、当該部署での業務とその他の部署等での業務を兼務していることをいいます。

問13-2 平成21年6月、平成22年6月、平成23年6月の各1カ月間に精神科デイ・ケアを利用した患者数（実人数）をご記入ください。

	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
精神科デイ・ケアの利用患者数	人	人	人
【再掲】当該療法の最初の算定から1年以内の期間を行っている患者数	人	人	人
【再掲】当該療法の最初の算定から1年以上の期間を行っている患者数	人	人	人
【再掲】入院中から精神科デイ・ケアを利用している患者数	人	人	人
過去1年間に利用が中断し関わりが途切れた患者数		人	人

問13-3 貴院では、疾患別や年代別等の個別のプログラムを有していますか。

01 ある

02 ない

▶プログラムの有無（該当するもの全てに○）

《疾患別》

- 11 統合失調症患者を対象とする内容
- 12 うつ患者を対象とする内容
- 13 その他特定の患者を対象とする内容

《年代別》

- 14 高齢者を対象とする内容
- 15 青年期の患者を対象とする内容
- 16 思春期の患者を対象とする内容
- 17 児童期の患者を対象とする内容
- 18 その他対象とする年代を区切った内容

《病期別》

- 19 慢性期の患者を対象とする内容
- 20 急性期退院直後の患者を対象とする内容
- 21 その他病期を区切った内容

《目的別》

- 22 家事等、日常生活技能の習得のための内容
- 23 症状や再発サインへの対処スキルの獲得のための内容
- 24 疾病と治療についての理解のための内容
- 25 復職支援のための内容
- 26 処方どおりの服薬を守るための内容
- 27 その他の特定の目的のための内容

■貴院における精神科訪問看護の実施状況についてお伺いします。

問14 貴院では、訪問看護を実施していますか。
 01 実施している (⇒問14-1～問14-4へ) 02 実施していない (⇒問15へ)

問14-1 貴院では、訪問看護を担当する部署を設置していますか。
 01 設置している
 (⇒担当部署の種別： 11 院内の訪問看護部門 12 併設する訪問看護ステーション)
 02 設置していない
 (⇒訪問看護職員の所属： 21 病棟 22 外来 23 その他 ())

問14-1-1 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に当該部署に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)	常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)
1 看護師	. 人	. 人
2 准看護師	. 人	. 人
3 理学療法士	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。

例：1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5 \text{日} \times 8 \text{時間} \times 10 \text{人} + 4 \text{日} \times 5 \text{時間} \times 1 \text{人}}{40 \text{時間}} = 10.5 \text{人}$$

問14-2 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に精神科訪問看護を利用した患者数(実人数)をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
精神科訪問看護の総登録患者数	人	人
精神科訪問看護の利用患者数	人	人
精神科訪問看護・指導料(I)の算定件数	件	件
複数名訪問加算の算定件数	件	件
精神科訪問看護・指導料(II)の算定件数	件	件
長時間訪問加算の算定件数	件	件

注. 訪問看護ステーションについては、訪問看護基本療養費I(精神疾患患者に限る)、IIの算定件数をご記入ください。

問14-3 精神科訪問看護・指導料(I)(訪問看護ステーションは訪問看護基本療養費I)について、複数の看護師等で訪問した場合の加算を算定できる場合であっても、実際には加算をしないことがありますか。

01 算定要件を満たす場合には算定している
 02 算定要件を満たす場合であっても算定しないことがある
 ↳算定しない理由 ()

問14-4 精神科訪問看護・指導料(II)(訪問看護ステーションは訪問看護基本療養費II)について、指定訪問看護の時間が3時間を超えた時間について加算を算定できる場合であっても、実際には加算をしないことがありますか。

01 算定要件を満たす場合には算定している
 02 算定要件を満たす場合であっても算定しないことがある
 ↳算定しない理由 ()

■貴院のGAF尺度による判定の実施状況についてお伺いします。

問15 貴院の 精神科の急性期医療 におけるGAF尺度による判定の実施状況についてお伺いします。		
1 GAF尺度による判定の実施状況	01 実施 (⇒問15-2へ)	02 未実施 (⇒問16へ)
2 精神科の急性期医療におけるGAF尺度による判定・記録に対する負担感 (それぞれ該当するもの1つに○)	新規入院患者の判定・記録	入院中の患者の判定・記録
	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい

問16 貴院の 精神科の慢性期医療 におけるGAF尺度による判定の実施状況についてお伺いします。		
1 GAF尺度による判定の実施状況	01 実施 (⇒問16-2へ)	02 未実施 (⇒問17へ)
2 精神科の慢性期医療におけるGAF尺度による判定・記録に対する負担感 (それぞれ該当するもの1つに○)	新規入院患者の判定・記録	入院中の患者の判定・記録
	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい	01 負担は大きい 02 負担はやや大きい 03 負担はやや小さい 04 負担は小さい

問17 貴院における 他の重症度判定尺度の活用状況 についてお伺いします。	
1 他の重症度判定尺度の活用の有無 (該当するもの全てに○)	01 有 ↳ 活用している尺度 () 02 無
2 重症度の判定尺度としてGAF尺度を用いることに対する意見 (該当するもの全てに○)	
01 判定・記録が簡便である 02 判定対象が特定の疾患に限定されていないため、広く患者の状態像を判定できる 03 共通のスケールを用いることで患者の状態像等の比較が可能となる 04 判定・記録が煩雑である 05 患者の生活機能を反映した判定が難しい 06 判定者によって判定結果がぶれやすい 07 その他 ↓ ≪「07 その他」の意見について具体的にご記入ください≫	

■本年3月の東日本大震災が貴院に与えた影響についてお伺いします。

問18 本年3月の東日本大震災が貴院に与えた影響として、該当するもの全てをお選びください。
なお、選択肢中の(増加・減少)、(厚く・薄く)などについては、いずれかをお選びください。

- 01 入院患者数が(増加・減少)した
- 02 外来患者数が(増加・減少)した
- 03 入院患者の平均在院日数が(長く・短く)なった
- 04 入院患者の増減の影響により、精神科医療を担当する人員体制が(厚く・薄く)なった
- 05 職員の派遣等の影響により、精神科医療を担当する人員体制が(厚く・薄く)なった
- 06 その他 ()
- 07 影響を受けていない

■平成22年度診療報酬改定による精神科医療の充実についてお伺いします。

問19 最後に、平成22年度診療報酬改定により、貴院では精神科医療の充実・改善が図れたとお考えになりますか。該当する選択肢を選び、その理由を具体的にご記入ください。

- 01 充実・改善することができた
- 02 充実・改善することができなかった

《理 由》

設問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）
精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションの状況についてお伺いします。

問1 貴院の院内の訪問看護部門、併設する訪問看護ステーションにおいて平成23年6月の1カ月間に訪問している患者について、以下の各項目の選択肢を参考に、算定している精神科訪問看護・指導料および加算、訪問状況、患者の6月1カ月間の平均的なGAF尺度のスコアをご記入ください。

		選 択 肢	
主たる疾患	01 症状性を含む器質性精神障害 02 精神作用物質による精神及び行動の障害 03 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 04 気分〔感情〕障害 05 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 06 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	07 成人の人格及び行動の障害 08 知的障害（精神遅滞） 09 心理的発達の障害 10 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 11 詳細不明の精神障害 12 その他	
精神科訪問看護・指導料	01 精神科訪問看護・指導料（Ⅰ）	02 精神科訪問看護・指導料（Ⅱ）	
加 算	01 複数名訪問加算	02 長時間訪問加算	
ケア内容	01 日常生活の維持／生活技能の獲得・拡大（食生活・活動・整容・安全確保等のモニタリングおよび技能の維持向上のためのケア） 02 対人関係の維持・構築（コミュニケーション能力の維持向上の援助、他者との関係性への援助） 03 家族関係の調整（家族に対する援助、家族との関係性に関する援助） 04 精神症状の悪化や増悪を防ぐ（症状のモニタリング、症状安定・改善のためのケア、服薬・通院継続のための関わり） 05 身体症状の発症や進行を防ぐ（身体症状・合併症のモニタリング、生活習慣に関する助言・指導、自己管理能力を高める援助） 06 公共施設利用の援助（電車、銀行、役所などの利用に対する援助） 07 社会資源の活用（社会資源に関する情報提供、利用のための援助） 08 住環境等に関する援助（住まい等に関する援助） 09 仕事や学校に関する援助（社会活動に関する調整・援助） 10 対象者のエンパワーメント（自己効力感を高める、コントロール感を高める、肯定的フィードバック）		

患者 No.	主たる疾患	精神科訪問看護・指導料	6月の訪問回数	1回当たり平均訪問時間	加算	ケア内容 (該当するもの全てに○)	GAF尺度のスコア
1	1~12から記入	01 (Ⅰ) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等 } 02 (Ⅱ) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無 }	月____回	____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____.____点

問1 (つづき)								
患者No.	主たる疾患	精神科訪問看護・指導料	6月の訪問回数	1回当たり平均訪問時間	加算	ケア内容 (該当するもの全てに○)	GAF尺度のスコア	
2	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
3	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
4	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
5	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
6	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
7	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
8	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
9	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		
10	1~12から記入 _____	01 (I) ⇒ { 訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等	月____回	_____時間	01	01 03 05 07 09	_____点	
		02 (II) ⇒ { 同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無			02	02 04 06 08 10		

問1 (つづき)								
患者 No.	主たる疾患	精神科訪問看護・指導料	6月の訪問回数	1回当たり平均訪問時間	加算	ケア内容 (該当するもの全てに○)	GAF 尺度のスコア	
11	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
12	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
13	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
14	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
15	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
16	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
17	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
18	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
19	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	
20	1~12 から記入 _____	01 (I) ⇒ (訪問先 01 居宅 02 精神障害者施設等) 02 (II) ⇒ (同一精神障害者施設等における他の訪問患者の有無 01 有 02 無)	月____回	_____時間	01 02	01 03 05 07 09 02 04 06 08 10	____. ____点	

診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成23年度調査)

精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。		
	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)	
2 看護職員(看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。
 例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料(精神病棟)」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①~⑫の合計、年齢階級①~⑤の合計、在院期間①~⑥の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。			
	平成21年6月	平成23年6月	
当該病棟の入院患者数	人	人	
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分[感情]障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害(精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

問2 (つづき)			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
在院期間別 注2	① 1 カ月未満	人	人	
	② 1 カ月以上 3 カ月未満	人	人	
	③ 3 カ月以上 6 カ月未満	人	人	
	④ 6 カ月以上 1 年未満	人	人	
	⑤ 1 年以上 5 年未満	人	人	
	⑥ 5 年以上	人	人	

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状況について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
精神科身体合併症管理加算の状況別 注	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人	
	② 心疾患（New York Heart Association の心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人	
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人	
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人	
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index ¹³ 未満の摂食障害）	人	人	
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人	
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人	
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人	
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人	
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人	
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人	
	⑫ 透析導入時	人	人	
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人	
	⑭ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人	
	④以外の内分泌・代謝性疾患	人	人	
⑤以外の栄養障害	人	人		
合併症妊娠・出産	人	人		
その他の身体合併症	人	人		

注. 身体合併症の状況が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟に入院している全ての患者のうち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数をご記入ください。			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
精神科身体合併症管理加算の算定患者数			人	人

問3-2 貴院の当該病棟における**精神科以外の診療科との連携状況**についてお伺いします。

<p>1 院内の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)</p>	<p>01 有 02 無</p> <p>↳ ① 連携方法：(該当するもの全てに○)</p> <table border="1"> <tr><td>11 診療記録の共有</td></tr> <tr><td>12 院内カンファレンスの開催</td></tr> <tr><td>13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有</td></tr> <tr><td>14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有</td></tr> <tr><td>15 他診療科の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td></tr> <tr><td>16 他診療科への転棟による診療</td></tr> <tr><td>17 その他 (_____)</td></tr> </table>	11 診療記録の共有	12 院内カンファレンスの開催	13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有	15 他診療科の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他診療科への転棟による診療	17 その他 (_____)						
11 診療記録の共有														
12 院内カンファレンスの開催														
13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有														
14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有														
15 他診療科の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)														
16 他診療科への転棟による診療														
17 その他 (_____)														
<p>2 院内パスの活用</p>	<p>01 有 (⇒疾患名： _____) 02 無</p>													
<p>3 院外の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)</p>	<p>01 有 02 無</p> <p>↳ ① 連携医療機関：</p> <table border="1"> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> </table> <p>② 連携方法：(該当するもの全てに○)</p> <table border="1"> <tr><td>11 診療記録の共有</td></tr> <tr><td>12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td></tr> <tr><td>13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td></tr> <tr><td>14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td></tr> <tr><td>15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td></tr> <tr><td>16 他の医療機関への転院による診療</td></tr> <tr><td>17 その他 (_____)</td></tr> </table>	病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	11 診療記録の共有	12 他の医療機関とのカンファレンスの開催	13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有	15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他の医療機関への転院による診療	17 その他 (_____)
病院	施設													
有床診療所	施設													
無床診療所	施設													
11 診療記録の共有														
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催														
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有														
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有														
15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)														
16 他の医療機関への転院による診療														
17 その他 (_____)														
<p>4 地域連携パスの活用</p>	<p>01 有 (⇒疾患名： _____) 02 無</p>													
<p>5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)</p>	<p>01 おおむね対応できている</p> <p>02 時々対応できないことがある</p> <p>03 ほとんど対応できていない</p>													
<p>6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫</p>	<p>《自由回答》</p>													

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年4～6月、平成23年4～6月の間に、貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。					
		平成21年4～6月		平成23年4～6月	
		全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数	全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数
新規入棟患者数		人	人	人	人
入棟前の居場所別	① 自宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	

問5 平成21年4～6月、平成23年4～6月の間に、貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。					
		平成21年4～6月		平成23年4～6月	
		当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人
転棟・転院・退院先別	① 自宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	人	人	

問5-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

＜自由回答＞

■当該病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況についてお伺いします。

問6 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」算定病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況 ^注 についてお伺いします。	
1 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
2 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
3 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
4 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス (該当するもの全てに○)	01 外来 02 デイ・ケア 03 訪問診療・往診 04 訪問看護 05 その他 ()
5 その他、精神科入院患者の地域への移行を推進する上での工夫	《自由回答》

注. 退院支援の実施状況は、精神科退院指導料や退院時共同指導料2等の算定の有無に関わらず、退院支援を行っている全ての患者についてご記入ください。

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問7 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた 02 ほぼ変わらない 03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた 02 ほぼ変わらない 03 減った

問8 貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

「精神科病棟入院基本料」10対1入院基本料、13対1入院基本料、
「特定機能病院入院基本料（精神科病棟）」7対1入院基本料、10対1入院基本料、
13対1入院基本料を届出ている施設のみ、次頁の間9～10にご回答ください

■当該病棟の入院患者のGAF尺度のスコアの状況についてお伺いします。

問9 <<「精神科病棟入院基本料」10対1入院基本料、13対1入院基本料、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」7対1入院基本料、10対1入院基本料、13対1入院基本料を届出ている施設のみご記入ください>>

貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟において、平成23年6月30日時点に入院していた全ての患者の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。

なお、任意の設問として、平成22年6月30日時点、平成21年6月30日時点に入院していた患者のGAF尺度のスコア別の状態についても、可能な範囲でご記入ください。

		平成23年6月30日 時点の入院患者	任意（可能な範囲でご記入ください）	
			平成22年6月30日 時点の入院患者	平成21年6月30日 時点の入院患者
当該病棟で該当する患者数		人	人	人
GAF 尺度 の スコア 別	① 91～100点	人	人	人
	② 81～90点	人	人	人
	③ 71～80点	人	人	人
	④ 61～70点	人	人	人
	⑤ 51～60点	人	人	人
	⑥ 41～50点	人	人	人
	⑦ 31～40点	人	人	人
	⑧ 21～30点	人	人	人
	⑨ 11～20点	人	人	人
	⑩ 1～10点	人	人	人
	⑪ 0点	人	人	人

問10 <<「精神科病棟入院基本料」10対1入院基本料、13対1入院基本料、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」7対1入院基本料、10対1入院基本料、13対1入院基本料を届出ている施設のみご記入ください>>

貴院の「精神科病棟入院基本料」、「特定機能病院入院基本料（精神病棟）」算定病棟において、平成23年4月～6月の間に①新規入院した全ての患者の入棟時の状態、②転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。

		①入棟時点の状態像	②転棟・転院・退院時点の状態像
		平成23年4～6月に 新規入棟した患者	平成23年4～6月に 転棟・転院・退院した患者
当該病棟で該当する患者数		人	人
GAF 尺度 の スコア 別	① 91～100点	人	人
	② 81～90点	人	人
	③ 71～80点	人	人
	④ 61～70点	人	人
	⑤ 51～60点	人	人
	⑥ 41～50点	人	人
	⑦ 31～40点	人	人
	⑧ 21～30点	人	人
	⑨ 11～20点	人	人
	⑩ 1～10点	人	人
	⑪ 0点	人	人

診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成23年度調査)

精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の「精神科救急入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科救急入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)	
2 看護職員(看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①~⑫の合計、年齢階級①~⑤の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分[感情]障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害(精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状況について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の 状態別 注	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人
	② 心疾患（New York Heart Association の心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index13未満の摂食障害）	人	人
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人
	⑫ 透析導入時	人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人
	⑭ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人
④以外の内分泌・代謝性疾患		人	人
⑤以外の栄養障害		人	人
合併症妊娠・出産		人	人
その他の身体合併症		人	人

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の算定患者数		人	人

問3-2 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。	
1 院内の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有 02 無 ↳ ① 連携方法：(該当するもの全てに○) 11 診療記録の共有 12 院内カンファレンスの開催 13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 15 他診療科の医師による対診診療（他診療科から当該病棟に出向いて行う診療） 16 他診療科への転棟による診療 17 その他（_____）
	2 院内パスの活用 01 有 (⇒疾患名：_____) 02 無

問3-2 (つづき)																								
3 院外の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有 02 無																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">① 連携医療機関：</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td colspan="2">② 連携方法：(該当するもの全てに○)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11 診療記録の共有</td> </tr> <tr> <td colspan="2">12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td> </tr> <tr> <td colspan="2">13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td colspan="2">14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td colspan="2">15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">16 他の医療機関への転院による診療</td> </tr> <tr> <td colspan="2">17 その他 (_____)</td> </tr> </table>	① 連携医療機関：		病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	② 連携方法：(該当するもの全てに○)		11 診療記録の共有		12 他の医療機関とのカンファレンスの開催		13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有		14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有		15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)		16 他の医療機関への転院による診療		17 その他 (_____)
① 連携医療機関：																								
病院	施設																							
有床診療所	施設																							
無床診療所	施設																							
② 連携方法：(該当するもの全てに○)																								
11 診療記録の共有																								
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催																								
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有																								
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有																								
15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)																								
16 他の医療機関への転院による診療																								
17 その他 (_____)																								
4 地域連携パスの活用	01 有 (⇒疾患名： _____) 02 無																							
5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)	01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない																							
6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫	《自由回答》																							

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算1の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬1種類		人	人
【再掲】抗精神病薬2種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算2の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬3種類		人	人
【再掲】抗精神病薬4種類		人	人
【再掲】抗精神病薬5種類以上		人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問5 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科救急入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	
緊急自動車等により搬送された延べ患者数		人	人

問6 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、「精神科救急入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月		平成23年6月	
		全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数	全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人	人	人
転棟・転院・退院先別	① 自宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	人	人	

問6-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況についてお伺いします。

問7 貴院の「 <u>精神科救急入院料</u> 」算定病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況 ^注 についてお伺いします。	
1 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
2 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
3 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
4 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス (該当するもの全てに○)	01 外来 02 デイ・ケア 03 訪問診療・往診 04 訪問看護 05 その他 ()
5 その他、精神科入院患者の地域への移行を推進する上での工夫	《自由回答》

注. 退院支援の実施状況は、精神科退院指導料や退院時共同指導料2等の算定の有無に関わらず、退院支援を行っている全ての患者についてご記入ください。

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問8 貴院の「 <u>精神科救急入院料</u> 」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)			
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った

問9 貴院の「 <u>精神科救急入院料</u> 」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の「精神科救急・合併症入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
		実人数	
1 医師		人	人
		常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)		. 人	. 人
3 看護補助者		. 人	. 人
4 作業療法士		. 人	. 人
5 臨床心理技術者		. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー		. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士		. 人	. 人
7 医師事務作業補助者		. 人	. 人
8 その他		. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害 (精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状況について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科救急・合併症入院料の状況別 <small>注</small>	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人
	② 心疾患（New York Heart Association の心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index13未満の摂食障害）	人	人
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人
	⑫ 透析導入時	人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人
	⑭ 合併症妊娠・出産	人	人
	⑮ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人
④以外の内分泌・代謝性疾患	人	人	
⑤以外の栄養障害	人	人	
その他の身体合併症	人	人	

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。	
1 院内の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有 02 無
	① 連携方法：(該当するもの全てに○) 11 診療記録の共有 12 院内カンファレンスの開催 13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 15 他診療科の医師による対診診療（他診療科から当該病棟に出向いて行う診療） 16 他診療科への転棟による診療 17 その他（ _____ ）
2 院内パスの活用	01 有 (⇒疾患名： _____) 02 無

問3-1 (つづき)

3 院外の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有	02 無							
	① 連携医療機関： <table border="1"> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> </table>		病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	
病院	施設								
有床診療所	施設								
無床診療所	施設								
② 連携方法：(該当するもの全てに○) <table border="1"> <tr> <td>11 診療記録の共有</td> </tr> <tr> <td>12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td> </tr> <tr> <td>13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td> </tr> <tr> <td>16 他の医療機関への転院による診療</td> </tr> <tr> <td>17 その他 (_____)</td> </tr> </table>			11 診療記録の共有	12 他の医療機関とのカンファレンスの開催	13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有	15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他の医療機関への転院による診療	17 その他 (_____)
11 診療記録の共有									
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催									
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有									
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有									
15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)									
16 他の医療機関への転院による診療									
17 その他 (_____)									
4 地域連携パスの活用	01 有 (⇒疾患名： _____)	02 無							
5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)	01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない								
6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫	≪自由回答≫								

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算1の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬1種類		人	人
【再掲】抗精神病薬2種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算2の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬3種類		人	人
【再掲】抗精神病薬4種類		人	人
【再掲】抗精神病薬5種類以上		人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問5 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			平成21年6月	平成23年6月
新規入棟患者数			人	人
入棟前の居場所別	① 自宅		人	人
	② 自院の他の病棟等		人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科病棟）		人	人
	【再掲】精神科救急入院料		人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料		人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料		人	人
	【再掲】その他の病棟		人	人
	③ 他 の 病 院		人	人
	④ 有 床 診 療 所		人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設		人	人
⑥ 老人保健施設		人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設		人	人	
緊急自動車等により搬送された延べ患者数			人	人

問6 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、「精神科救急・合併症入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			平成21年6月	平成23年6月
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数			人	人
転棟・転院・退院先別	① 自宅		人	人
	② 自院の他の病棟等		人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神科病棟）		人	人
	【再掲】精神科救急入院料		人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料		人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料		人	人
	【再掲】その他の病棟		人	人
	③ 他 の 病 院		人	人
	④ 有 床 診 療 所		人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設		人	人
⑥ 老人保健施設		人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設		人	人	
⑧ 死 亡		人	人	

問6-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問7 貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)			
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った

問8 貴院の「精神科救急・合併症入院料」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害(精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人
当該病棟の入院料に係る算定要件に該当しない患者数		人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

■当該病棟の身体合併症を有する患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、身体合併症を有する患者の状況について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の 状態別 注	① 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫）	人	人
	② 心疾患（New York Heart Association の心機能分類のⅢ度、Ⅳ度相当の心不全、虚血性心疾患、モニター監視を必要とする不整脈）	人	人
	③ 手術又は直達・介達牽引を要する骨折	人	人
	④ 重篤な内分泌・代謝性疾患（インスリン投与を要する糖尿病、専門医の診察を要する内分泌疾患、肝硬変を伴う高アンモニア血症）	人	人
	⑤ 重篤な栄養障害（Body Mass Index13未満の摂食障害）	人	人
	⑥ 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害、電解質異常、代謝性疾患によるせん妄等）	人	人
	⑦ 全身感染症（結核、後天性免疫不全症候群、梅毒1期、2期、敗血症）	人	人
	⑧ 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	人	人
	⑨ 悪性症候群、横紋筋融解症	人	人
	⑩ 広範囲（半肢以上）熱傷	人	人
	⑪ 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍	人	人
	⑫ 透析導入時	人	人
	⑬ 手術室での手術を必要とする状態	人	人
	⑭ 膠原病（専門医による管理を必要とする状態に限る）	人	人
④以外の内分泌・代謝性疾患		人	人
⑤以外の栄養障害		人	人
合併症妊娠・出産		人	人
その他の身体合併症		人	人

注. 身体合併症の状態が複数に該当する場合にはそれぞれに計上してご記入ください。

問3-1 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
精神科身体合併症管理加算の算定患者数		人	人

問3-2 貴院の当該病棟における精神科以外の診療科との連携状況についてお伺いします。	
1 院内の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有 02 無 ↳ ① 連携方法：(該当するもの全てに○) 11 診療記録の共有 12 院内カンファレンスの開催 13 医師間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 14 その他職種間の院内カンファレンス以外による情報交換・共有 15 他診療科の医師による対診診療（他診療科から当該病棟に出向いて行う診療） 16 他診療科への転棟による診療 17 その他（ _____ ）
	2 院内パスの活用 01 有 (⇒疾患名： _____) 02 無

問3-2 (つづき)

3 院外の他診療科との連携の有無 (該当するもの1つに○)	01 有	02 無							
	① 連携医療機関： <table border="1"> <tr> <td>病院</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>有床診療所</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>無床診療所</td> <td>施設</td> </tr> </table>		病院	施設	有床診療所	施設	無床診療所	施設	
病院	施設								
有床診療所	施設								
無床診療所	施設								
	② 連携方法：(該当するもの全てに○) <table border="1"> <tr> <td>11 診療記録の共有</td> </tr> <tr> <td>12 他の医療機関とのカンファレンスの開催</td> </tr> <tr> <td>13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有</td> </tr> <tr> <td>15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)</td> </tr> <tr> <td>16 他の医療機関への転院による診療</td> </tr> <tr> <td>17 その他 (_____)</td> </tr> </table>		11 診療記録の共有	12 他の医療機関とのカンファレンスの開催	13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有	14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有	15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)	16 他の医療機関への転院による診療	17 その他 (_____)
11 診療記録の共有									
12 他の医療機関とのカンファレンスの開催									
13 医師間のカンファレンス以外による情報交換・共有									
14 その他職種間のカンファレンス以外による情報交換・共有									
15 他の医療機関の医師による対診診療 (他診療科から当該病棟に出向いて行う診療)									
16 他の医療機関への転院による診療									
17 その他 (_____)									
4 地域連携パスの活用	01 有 (⇒疾患名： _____)	02 無							
5 身体合併症患者への対応状況 (該当するもの1つに○)	01 おおむね対応できている 02 時々対応できないことがある 03 ほとんど対応できていない								
6 精神科以外の診療科との連携する上での工夫	≪自由回答≫								

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問4 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

	平成21年6月	平成22年6月	平成23年6月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算1の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬1種類		人	人
【再掲】抗精神病薬2種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算2の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬3種類		人	人
【再掲】抗精神病薬4種類		人	人
【再掲】抗精神病薬5種類以上		人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問5 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月	平成23年6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	

問6 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神科急性期治療病棟入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。		平成21年6月		平成23年6月	
		全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数	全患者数	うち、精神科身体合併症管理加算の算定患者数
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人	人	人
転棟・転院・退院先別	① 自宅	人	人	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人	人	人
	【再掲】精神科療養病棟入院料	人	人	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	人	人	

問6-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問7 貴院の「 <u>精神科急性期治療病棟入院料</u> 」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)			
1 <u>精神症状</u> の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った
2 <u>身体合併症</u> の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った

問8 貴院の「 <u>精神科急性期治療病棟入院料</u> 」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 <u>精神症状</u> の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 <u>身体合併症</u> の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

■貴院の「精神療養病棟入院料」の算定病棟全体の状況についてお伺いします。

問1 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟において平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に従事している職員数をご記入ください。

	平成21年6月	平成23年6月
	実人数	
1 医師	人	人
	常勤換算人数 ^注 (小数点第1位まで)	
2 看護職員 (看護師・准看護師)	. 人	. 人
3 看護補助者	. 人	. 人
4 作業療法士	. 人	. 人
5 臨床心理技術者	. 人	. 人
6 ソーシャルワーカー	. 人	. 人
【再掲】精神保健福祉士	. 人	. 人
7 医師事務作業補助者	. 人	. 人
8 その他	. 人	. 人

注. 常勤換算人数の算出方法

貴院の1週間の所定労働時間を基本とし、下記のように常勤換算して小数第一位まで(小数点第二位を切り上げ)をご記入ください。
例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の病院で、週5日(各日8時間)勤務の看護師が10人と、週4日(各日5時間)勤務の看護師が1人いる場合

$$\text{常勤換算看護師数} = \frac{5日 \times 8時間 \times 10人 + 4日 \times 5時間 \times 1人}{40時間} = 10.5人$$

問2 平成21年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者の状態について、それぞれ該当する人数をご記入ください。なお、主たる疾患①～⑫の合計、年齢階級①～⑤の合計、在院期間①～⑥の合計については、最上段の「当該病棟の入院患者数」と同じ数値になるようにしてください。

		平成21年6月	平成23年6月
当該病棟の入院患者数		人	人
主たる疾患別 ^{注1}	① 症状性を含む器質性精神障害	人	人
	② 精神作用物質による精神及び行動の障害	人	人
	③ 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	人	人
	④ 気分〔感情〕障害	人	人
	⑤ 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	人	人
	⑥ 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	人	人
	⑦ 成人の人格及び行動の障害	人	人
	⑧ 知的障害(精神遅滞)	人	人
	⑨ 心理的発達の障害	人	人
	⑩ 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	人	人
	⑪ 詳細不明の精神障害	人	人
	⑫ その他	人	人
年齢階級別	① 20歳未満	人	人
	② 20歳以上40歳未満	人	人
	③ 40歳以上65歳未満	人	人
	④ 65歳以上75歳未満	人	人
	⑤ 75歳以上	人	人

注1. 主たる疾患が複数の疾患に該当する場合には主たる1つに計上してご記入ください。また、ICD10 国際疾病分類第10版(2003年改訂)の「精神および行動の障害」によるものとします。

問2 (つづき)			平成 21 年 6 月	平成 23 年 6 月
在院期間別 注2	① 1 カ月未満		人	人
	② 1 カ月以上 3 カ月未満		人	人
	③ 3 カ月以上 6 カ月未満		人	人
	④ 6 カ月以上 1 年未満		人	人
	⑤ 1 年以上 5 年未満		人	人
	⑥ 5 年以上		人	人

注2. 在院期間は、過去に入院形態の変更があったとしても、入院が継続している場合は1回の在院期間として扱うものとします。

■当該病棟の非定型抗精神病薬による治療患者の状況についてお伺いします。

問3 平成21年6月30日時点、平成22年6月30日時点、平成23年6月30日時点で貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟に入院している全ての患者のうち、非定型抗精神病薬による治療患者数について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
	平成 21 年 6 月	平成 22 年 6 月	平成 23 年 6 月
非定型抗精神病薬による治療患者数	人	人	人
① 非定型抗精神病薬加算 ₁ の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬 1 種類		人	人
【再掲】抗精神病薬 2 種類		人	人
② 非定型抗精神病薬加算 ₂ の算定患者数		人	人
【再掲】抗精神病薬 3 種類		人	人
【再掲】抗精神病薬 4 種類		人	人
【再掲】抗精神病薬 5 種類以上		人	人

■当該病棟の入院患者のGAF尺度のスコアの状況についてお伺いします。

問4 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟において、平成23年6月30日時点で入院していた全ての患者の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。 なお、任意の設問として、平成22年6月30日時点、平成21年6月30日時点で入院していた患者のGAF尺度のスコア別の状態についても、可能な範囲でご記入ください。			
	平成 23 年 6 月 30 日 時点の入院患者	任意 (可能な範囲でご記入ください)	
		平成 22 年 6 月 30 日 時点の入院患者	平成 21 年 6 月 30 日 時点の入院患者
当該病棟で該当する患者数	人	人	人
GAF 尺度の スコア別	① 91～100点	人	人
	② 81～90点	人	人
	③ 71～80点	人	人
	④ 61～70点	人	人
	⑤ 51～60点	人	人
	⑥ 41～50点	人	人
	⑦ 31～40点	人	人
	⑧ 21～30点	人	人
	⑨ 11～20点	人	人
	⑩ 1～10点	人	人
	⑪ 0点	人	人

問5 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟において、平成23年4月～6月の間に①新規入棟した全ての患者の入院時の状態、②転棟・転院・退院した全ての患者の転院・退院時の状態について、GAF尺度のスコア別にそれぞれ該当する人数をご記入ください。			
		①入棟時点の状態像	②転棟・転院・退院時点の状態像
		平成23年4～6月に新規入棟した患者	平成23年4～6月に転棟・転院・退院した患者
当該病棟で該当する患者数		人	人
GAF尺度のスコア別	① 91～100点	人	人
	② 81～90点	人	人
	③ 71～80点	人	人
	④ 61～70点	人	人
	⑤ 51～60点	人	人
	⑥ 41～50点	人	人
	⑦ 31～40点	人	人
	⑧ 21～30点	人	人
	⑨ 11～20点	人	人
	⑩ 1～10点	人	人
	⑪ 0点	人	人

■当該病棟の新規入棟患者、転棟・転院・退院患者の状況についてお伺いします。

問6 平成21年4～6月、平成23年4～6月の間に、貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟に新規入棟した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。			
		平成21年4～6月	平成23年4～6月
新規入棟患者数		人	人
入棟前の居場所別	① 自宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料	人	人
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	

問7 平成21年6月、平成23年6月の各1カ月間に、貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟から転棟・転院・退院した患者について、それぞれ該当する人数をご記入ください。

		平成21年4～6月	平成23年4～6月
当該病棟から転棟・転院・退院した患者数		人	人
転棟・ 転院・ 退院先別	① 自宅	人	人
	② 自院の他の病棟等	人	人
	【再掲】精神科病棟入院基本料、特定機能病院入院基本料（精神病棟）	人	人
	【再掲】精神科救急入院料	人	人
	【再掲】精神科救急・合併症入院料	人	人
	【再掲】精神科急性期治療病棟入院料		
	【再掲】その他の病棟	人	人
	③ 他 の 病 院	人	人
	④ 有 床 診 療 所	人	人
	⑤ グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設	人	人
⑥ 老人保健施設	人	人	
⑦ ①～⑥以外の施設	人	人	
⑧ 死 亡	人	人	



問7-1 死亡となった患者の死亡診断書に記載されている死因をご記入ください。

《自由回答》

■当該病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況についてお伺いします。

問8 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟の入院患者に対する退院支援の実施状況 ^注 についてお伺いします。	
1 転院・退院前に退院支援計画を作成し退院調整を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
2 転院・退院前あるいは退院時に地域の関係者とカンファレンスを開催した患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
3 転院・退院に先立って患家等を訪問し、退院後の療養上の指導を行った患者数 (該当するもの1つに○)	01 ほぼ全員の退院患者に対して行っている 02 退院患者のうち、5～8割の患者に対して行っている 03 退院患者のうち、5割以下の患者に対して行っている 04 ほとんどの退院患者に対して行っていない
4 精神科入院患者を地域へ移行する上で重要となる通院・在宅サービス (該当するもの全てに○)	01 外来 02 デイ・ケア 03 訪問診療・往診 04 訪問看護 05 その他 ()
5 その他、精神科入院患者の地域への移行を推進する上での工夫	《自由回答》

注. 退院支援の実施状況は、精神科退院指導料や退院時共同指導料2等の算定の有無に関わらず、退院支援を行っている全ての患者についてご記入ください。

■当該病棟における1年前と比較した重症な患者の状況についてお伺いします。

問9 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟の入院患者について、1年前と比較して精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者は増えましたか。(○はそれぞれ1つ)			
1 精神症状の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った
2 身体合併症の重症な患者の増減	01 増えた	02 ほぼ変わらない	03 減った

問10 貴院の「精神療養病棟入院料」算定病棟の入院患者について、過去1年間の間に他の病棟との間で精神症状の重症な患者、身体合併症の重症な患者の移動を行いましたか。(○はそれぞれ1つ)	
1 精神症状の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない
2 身体合併症の重症な患者の移動	01 当該病棟の軽症な患者を転棟・転院・退院させ、重症な患者を受け入れた 02 当該病棟の重症な患者を他の病棟に移行し、軽症な患者を受け入れた 03 他の病棟との間で重症な患者の移動は行っていない

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）
精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

●平成23年6月30日に精神科病棟に入院中の患者の状況について、該当患者1人につき本調査票1部を可能な範囲でご記入ください。

■患者の基本的事項

1 性別	01 男性	02 女性	2 年齢	(6月30日現在) _____ 歳
3 精神障害者福祉手帳	01 手帳をもっていない	02 1級	03 2級	04 3級

■入院の状況

4 入院日（年号に○）	平成・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日	6 精神科・神経科への通算入院回数	_____ 回目・不明
5 初診日（他の医療機関を含む）	平成・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日頃	7 精神科・神経科への通算入院期間	_____ 年 _____ 月・不明
8 現在入院中の病棟（○は1つ）	01 精神科病棟入院基本料(10または13対1) 02 精神科病棟入院基本料(15、18または20対1) 03 特定機能病院入院基本料(7、10または13対1) 04 特定機能病院入院基本料(15対1) 05 特別入院基本料	06 精神科救急入院料 07 精神科急性期治療病棟入院料（1または2） 08 精神科救急・合併症入院料 09 精神療養病棟入院料（1または2） 10 認知症治療病棟入院料	
9 入院基本料等加算の状況（○はいくつでも）	01 精神科隔離室管理加算 02 精神科病棟入院時医学管理加算 03 精神科地域移行実施加算 04 精神科身体合併症管理加算	05 児童・思春期精神科入院医療管理加算 06 強度行動障害入院医療管理加算 07 重度アルコール依存症入院医療管理加算 08 摂食障害入院医療管理加算	
10 入棟前の居場所（○は1つ）	01 自宅、賃貸住宅など（家族と同居） 02 自宅、賃貸住宅など（一人暮らし） 03 自院の他の病棟 04 他の医療機関の精神科病棟 05 他の医療機関の精神科病棟以外の病棟 06 介護老人保健施設 07 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	08 グループホーム 09 有料老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス） 10 生活訓練施設 11 入所授産施設 12 その他（ _____ ） 13 不明	
11 入院の理由（○はいくつでも）	01 精神症状が強いため 02 セルフケアに著しい問題があるため 03 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため	04 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため 05 治療・服薬への心理的抵抗が強いため 06 その他（ _____ ）	
12 入院形態（○は1つ）	01 任意入院 02 医療保護入院	03 措置入院・緊急措置入院 04 応急入院	
13 処遇（○は1つ）	01 開放処遇	02 閉鎖処遇	
14 主傷病（○は1つ）	01 認知症（F00-03） 02 その他の症状性を含む器質性精神障害（F04-09） 03 アルコールによる精神・行動の障害（F10） 04 その他の精神作用物質による精神・行動の障害（F11-19） 05 統合失調症（F20） 06 その他の精神病性障害（F21-29） 07 気分（感情）障害（F3） 08 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害（F4）	09 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群（F5） 10 成人の人格・行動の障害（F6） 11 知的障害（精神遅滞）（F7） 12 心理的発達の障害（F8） 13 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害（F90-98） 14 詳細不明の精神障害（F99） 15 てんかん（G40）	
15 身体合併症（○はいくつでも）	01 呼吸器系疾患（肺炎、喘息発作、肺気腫） 02 心疾患（虚血性心疾患など） 03 手術又は直達・介達牽引を要する骨折 04 重篤な内分泌・代謝性疾患 05 重篤な栄養障害（Body Mass Index 13未満の摂食障害） 06 意識障害（急性薬物中毒、アルコール精神障害等） 07 全身感染症（結核、梅毒、敗血症等） 08 急性腹症（消化管出血、イレウス等）	09 悪性症候群 10 横紋筋融解症 11 広範囲（半肢以上）熱傷 12 手術、化学療法又は放射線療法を要する悪性腫瘍 13 腎不全（透析を必要とする状態） 14 手術室での手術を必要とする状態 15 合併症妊娠・出産 16 膠原病（専門医による管理を必要とする状態）	

■患者の状態等

16 症状の程度 (○は1つ)	01 生命の危険がある	04 近日中に退院予定					
	02 生命の危険は少ないが入院治療を要する	05 検査入院					
	03 受け入れ条件が整えば退院可能	06 その他 ()					
17 患者の GAF スコア ・入棟時 1 週間 (ただし、精神科救急入院料の病棟の場合は入棟時 2 週間) ・平成 23 年 6 月末 1 週間	入棟初日	入棟 2 日目	入棟 3 日目	入棟 4 日目	入棟 5 日目	入棟 6 日目	入棟 7 日目
	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点
	入棟 8 日目	入棟 9 日目	入棟 10 日目	入棟 11 日目	入棟 12 日目	入棟 13 日目	入棟 14 日目
	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点
	6 月 24 日(金)	6 月 25 日(土)	6 月 26 日(日)	6 月 27 日(月)	6 月 28 日(火)	6 月 29 日(水)	6 月 30 日(木)
. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	. 点	
18 認知症高齢者の日常生活自立度	01 自立	02 I	03 II	04 IIIa	05 IIIb		
	06 IV	07 M	08 不明	09 該当無し			
19 ADL 区分 (○は1つ)	01 ADL 区分 1	02 ADL 区分 2	03 ADL 区分 3	04 不明			
20 IADL の困難度 (○は各 1 つ)	a. 食事の用意	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	b. 家事一般	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	c. 金銭管理	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	d. 薬の管理	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	e. 電話の利用	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	f. 買い物	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	g. 交通手段の利用	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難			
	21 患者の状態 (○は各 1 つ)	a. 他者への意思伝達	01 できる	02 できる時とできない時がある	03 できない		
b. 診療・療養上の指示が通じる		01 通じる	02 通じない				
c. 危険行動への対応(過去1ヶ月)		01 なし	02 あり				

〈参考〉

- a. 特定の看護師や家族にしか意思の伝達ができない場合は「できる時とできない時がある」。昏迷、緘黙の場合は「できない」。
 b. 隔離中の場合は、療養上の指示が「通じない」。拒薬も同様。認知症、幻覚妄想状態の患者は指示については「通じない」。
 c. 他害や器物破損で二次的に自他の安全を損なう行為、水中毒患者の多飲水も危険行為に含む。

■治療の状況

22 主傷病に対して実施している診療内容 (○はいくつでも) ※主治医にご確認ください	01 薬物療法 → (抗精神病薬: a. 単剤 b. 多剤併用 → (種数: _____種)) b の場合の理由:
	02 精神療法 → [a. 一般精神療法 b. 認知療法 c. 行動療法 d. 精神分析療法 e. 家族療法 f. 箱庭療法・遊戯療法 g. その他]
	03 訪問看護との併用 04 自立支援事務所との併用
	05 その他に利用している治療法や活動 ()
23 身体合併症に対する対応状況 (○はいくつでも)	01 精神科・神経科の医師が対応 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い)
	02 自院の他科の医師が対応 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い)
	03 他院の医師の支援を受けて対応 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い)
	04 身体合併症の治療は他院に移送して実施 → (a. 十分対応できている b. 治療上課題が多い)
	05 治療を要する身体合併症なし

■患者の社会的状況

24 退院後に生活を継続するために必要な支援 (○はいくつでも)	01 医療サービス (通院・訪問看護など) による援助・指導	04 不要
	02 福祉サービス (移送・家事援助など) による援助	05 将来の退院を想定できない
	03 給食サービス	06 その他 ()

■退院の見通し

25 退院の見通し (○は1つ)	01 現在の状態でも、受け入れ先が整えば退院可能	03 状態の改善が見込まれるので、受け入れ先が整えば近い将来(6ヶ月以内)に退院可能となる					
	02 状態の改善が見込まれるので、受け入れ先を新たに整えずとも近い将来(6ヶ月以内)に退院可能となる	04 状態の改善が見込まれず、受け入れ先を整えても将来の退院を見込めない					
26 退院した場合の支援 (○はそれぞれ1つ)	01 看護師・ケースワーカー・ヘルパー等による援助指導	02 不要					
	<table border="0"> <tr> <td>01 24時間常駐が必要</td> <td>03 毎日の訪問</td> <td>05 1週間で1回程度の訪問</td> </tr> <tr> <td>02 日中のみ常駐が必要</td> <td>04 1週間で数回の訪問が必要</td> <td></td> </tr> </table>	01 24時間常駐が必要	03 毎日の訪問	05 1週間で1回程度の訪問	02 日中のみ常駐が必要	04 1週間で数回の訪問が必要	
01 24時間常駐が必要	03 毎日の訪問	05 1週間で1回程度の訪問					
02 日中のみ常駐が必要	04 1週間で数回の訪問が必要						
27 現在退院できない場合の理由 (○はいくつでも)	01 (医学的観点から)入院を要する状態が続いているため	07 退院後、必要な医療処置の提供が期待できないため					
	02 病識がないため	08 退院後、必要な支援等サービスを期待できないため					
	03 患者の経済的理由のため	09 家族の受け入れ困難、又は介護者不在のため					
	04 本人が退院を望まないため	10 生活継続のための支援者がいないため					
	05 転院・入所先の空き待ちのため	11 地域(近所)住民の理解が得られないため					
	06 転院・入所への依頼が受け入れられないため	12 その他 ()					

設問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）
 精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査

●平成23年6月30日時点において貴病院にてデイ・ケアを利用されている患者であり、デイ・ケア利用開始日が平成21年7月1日以前かつデイ・ケア利用開始日から遡って2年以前に貴病院への通院を開始された患者の状況について、該当患者1人につき本調査票1部を可能な範囲でご記入ください。

■デイ・ケア利用者の基本的事項

1 性別	01 男性	02 女性	2 年齢	(6月30日現在) _____ 歳
3 精神障害者福祉手帳	01 手帳をもっていない	02 1級	03 2級	04 3級

■デイ・ケア利用開始後の状況

4 デイ・ケア利用開始日(年号に〇)	平成・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
5 入院中からのデイ・ケア利用の有無	01 有		02 無	
6 過去2年間における通算入院回数 (平成21年6月～平成23年6月)	_____ 回			
7 過去2年間における 再入退院日(年号に〇) (平成21年7月～ 平成23年6月)	入院日1	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日1	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日2	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日2	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日3	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日3	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日4	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日4	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日5	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日5	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日6	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日6	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日7	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日7	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日8	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日8	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日9	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日9	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日10	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日10	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
8 再入院の理由 (〇はいくつでも)	01 精神症状が強いため		04 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため	
	02 セルフケアに著しい問題があるため		05 治療・服薬への心理的抵抗が強いため	
	03 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため		06 その他 (_____)	

■デイ・ケア利用開始前の状況

9 通院開始日	平成・昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日			
10 デイ・ケア利用開始前2年間における 通算入院回数	_____ 回			
11 デイ・ケア利用開始 前2年間における 再入退院日(年号に〇)	入院日1	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日1	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日2	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日2	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日3	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日3	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日4	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日4	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日5	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日5	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日6	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日6	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日7	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日7	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日8	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日8	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日9	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日9	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
	入院日10	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日	退院日10	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
12 再入院の理由 (〇はいくつでも)	01 精神症状が強いため		04 自傷行為・自殺企図の危険性が高いため	
	02 セルフケアに著しい問題があるため		05 治療・服薬への心理的抵抗が強いため	
	03 迷惑行為・他害行為の危険性が高いため		06 その他 (_____)	

■デイ・ケア利用者の現況

13 現在の居場所 (○は1つ)	01 自宅(家族等との同居も含む)	05 高齢者専用賃貸住宅							
	02 有料老人ホーム	06 認知症グループホーム							
	03 軽費老人ホーム	07 その他()							
	04 養護老人ホーム	08 不明							
14 主傷病 (○は1つ)	01 認知症(F00-03)	09 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群(F5)							
	02 その他の症状性を含む器質性精神障害(F04-09)	10 成人の人格・行動の障害(F6)							
	03 アルコールによる精神・行動の障害(F10)	11 知的障害(精神遅滞)(F7)							
	04 その他の精神作用物質による精神・行動の障害(F11-19)	12 心理的発達障害(F8)							
	05 統合失調症(F20)	13 小児期・青年期に通常発症する行動・情緒の障害(F90-98)							
	06 その他の精神病性障害(F21-29)	14 詳細不明の精神障害(F99)							
	07 気分(感情)障害(F3)	15 てんかん(G40)							
	08 神経症性・ストレス関連・身体表現性障害(F4)								
15 デイ・ケア利用回数(平成23年6月1ヵ月)	_____回								
16 GAFスコア ・平成23年6月末1週間	6月24日(金)	6月25日(土)	6月26日(日)	6月27日(月)	6月28日(火)	6月29日(水)	6月30日(木)		
	点	点	点	点	点	点	点		
	17 認知症高齢者の 日常生活自立度	01 自立	02 I	03 II	04 IIIa	05 IIIb			
		06 IV	07 M	08 不明	09 該当無し				
	18 ADL区分(○は1つ)	01 ADL区分1	02 ADL区分2	03 ADL区分3	04 不明				
	19 IADLの困難度 (○は各1つ)	a. 食事の用意	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難				
		b. 家事一般	01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難				
c. 金銭管理		01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難					
d. 薬の管理		01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難					
e. 電話の利用		01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難					
f. 買い物		01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難					
g. 交通手段の利用		01 問題ない	02 いくらか困難	03 非常に困難					
20 主傷病に対して実施している診療内容 (○はいくつでも) ※主治医にご確認ください	01 薬物療法 → (抗精神病薬: a. 単剤 b. 多剤併用 → (種数: _____種))								
	bの場合の理由:								
	02 精神療法 → { a. 一般精神療法 b. 認知療法 c. 行動療法 d. 精神分析療法 e. 家族療法 f. 箱庭療法・遊戯療法 g. その他 }								
	03 訪問看護との併用 04 自立支援事務所との併用								
	05 その他に利用している治療法や活動()								

■プログラム利用の現況

21 デイ・ケア利用開始の目的 (○はいくつでも)	01 家事等、日常生活技能の習得のため	04 復職・就労支援のため		
	02 症状や再発サインへの対処スキルの獲得のため	05 対人関係を回復し仲間を作るため		
	03 疾病と服薬についての理解のため	06 その他()		
22 疾患別等のプログラム区分の有無	01 区分有り(→「23 利用プログラム」に進む)	02 区分無し		
23 利用プログラム (○はいくつでも)	疾患別	01 統合失調症患者を対象とするプログラム	06 発達障害患者を対象とするプログラム	
		02 うつ患者を対象とするプログラム	07 強迫性障害患者を対象とするプログラム	
		03 アルコール依存症を対象とするプログラム	08 摂食障害患者を対象とするプログラム	
		04 双極性障害を対象とするプログラム	09 薬物依存患者を対象とするプログラム	
		05 不安障害患者を対象とするプログラム	10 その他の特定患者を対象とするプログラム	
		年代別	01 高齢者を対象とするプログラム	04 児童期の患者を対象とするプログラム
			02 青年期の患者を対象とするプログラム	05 その他対象とする年代を区切ったプログラム
			03 思春期の患者を対象とするプログラム	
		病期別	01 慢性期(残遺状態)の患者を対象とするプログラム	03 その他病期を区切ったプログラム
			02 急性期退院直後の患者を対象とするプログラム	
	目的別	01 家事等、日常生活技能の習得のためのプログラム	04 復職・就労支援のためのプログラム	
		02 症状や再発サインへの対処スキルの獲得のためのプログラム	05 対人関係を回復し仲間を作るためのプログラム	
03 疾病と服薬についての理解のためのプログラム		06 その他の特定の目的のためのプログラム		

設問は以上です。ご協力まことにありがとうございました。

平成 23 年 月

開設者様
管理者様

平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）
「精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下、皆様におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、平成 22 年 4 月の診療報酬改定により、精神科における急性期を担う病院に対する評価の見直しを行うとともに、精神科救急患者等の救急搬送による受入の困難さを考慮した評価を実施し、また、精神療養病床においては、患者の重症度に応じた加算を創設するなど、精神科医療の充実を目的とした診療報酬の改定が行われました。

今般、中央社会保険医療協議会（以下、中医協）における診療報酬改定結果検証部会のもと、平成 22 年度の診療報酬改定による影響を検証するために、保険医療機関、患者を対象に、精神科急性期医療や精神科救急入院に係る体制や医療提供状況の変化、患者の状況等の把握を主な目的として、「精神入院医療における重症度評価導入後の影響調査」を実施することになりました。本調査の結果は、中医協における診療報酬改定の結果検証に係る議論のための大変重要な資料となります。

つきましては、ご多用の折、大変恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

なお、本調査は、平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）事業について厚生労働省から委託を受けた*****株式会社ですが、この事業を実施し、改定の結果を得る上で必要な調査であるとの判断により実施することを申し添えます。

謹白

「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」事務局
*****株式会社

平成 23 年 月 日（ ）まで

に同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください

※ 調査対象の選定に際しては、厚生労働省から預託された情報に基づき、無作為に抽出させていただきます。本調査でご回答いただいた情報については取り扱いに十分注意し、統計的に処理するとともに、上記目的以外に使用することは一切ございません。

☆☆☆お問い合わせ先☆☆☆

「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」事務局

*****株式会社

E-mail: *****

※電話は混み合う可能性がございますので、e-mail でご連絡いただけますと幸いです。
e-mail でご回答を差し上げるか、折り返し、弊社担当者からお電話をさせていただきます。

TEL: *****（受付時間：10:00～17:00）

※ただし、土日・祝日は除きます。

FAX: *****